センナ

生薬の性状の項を次のように改める.

生薬の性状　本品はひ針形～狭ひ針形を呈し，長さ 1.5～5cm，幅 0.5～1.5cm，淡灰黄色～淡灰黄緑色である．全縁で先端はとがり，葉脚は非相称，小葉柄は短い．ルーペ視するとき，葉脈は浮き出て，一次側脈は辺縁に沿って上昇し，直上の側脈に合一する．下面はわずかに毛がある．

本品は弱いにおいがあり，味は苦い．

本品の横切片を鏡検〈*5.01*〉するとき，両面の表皮は厚いクチクラを有し，多数の気孔及び厚壁で表面に粒状突起のある単細胞毛があり，表皮細胞はしばしば葉面に平行な隔壁によって 2 層に分かれ，内層に粘液を含む．両面の表皮下には 1 層のさく状組織があり，海綿状組織は 3～4 層からなり，シュウ酸カルシウムの集晶及び単晶を含む．維管束に接する細胞は結晶細胞列を形成する．